



校長 生野 元

## 運動会に向けて

運動会が近づいてきて、どの学年でも演技や競技の練習に熱が入ってきています。休み時間には、校内のあちこちから元気な応援練習の音が聞こえてきます。学校全体がとても活気に満ちていると感じる日々。また、先週まで大変な暑さのため WBGT の基準に従い、急に練習を中止とすることもありました。今週は少し涼しいようですが、本番に向けて暑さ対策や安全対策には十分気を付けていきます。



どの色も応援団長がしっかりしていて頼もしいです。

白熱した練習。頑張りすぎて、けがが心配です。



朝の応援練習。子どもたちだけでしっかりと練習できます。

いっぽう、普段の勉強もしっかりがんばるのが美原っ子です。校舎内を歩くと、どの教室でも集中して勉強する子どもたちの姿が見られます。高学年の子たちは、委員会活動も手を抜かずに頑張っています。

算数も頑張る3年生。すごく集中していました。

美原中の前で「あいさつ運動」。とても立派です。



初めて漢字を勉強する1年生。とても嬉しそう。



## ■ A E D（職員玄関前）について ■



AEDは、音声ガイドで誰でも使用することができます。校庭や体育館を使用する団体の方や地域の方に何かあったときは、いつでも使用することができます。盗難防止のため扉を開けるとブザー音が鳴りますが、いざという時は躊躇なく使用してください。（鍵はかかっていません。持ち運んだ場所がわかるようGPS機能を搭載しています。）

## ■ コミュニティ・ルーム ■

2階に「コミュニティ・ルーム」を新設しました。もともと倉庫だった部屋を整理整頓したらとてもきれいな部屋となったので、保護者や地域の方がご来校の際に「ちょっと休憩をしたり、ちょっとおしゃべりをしたり」するのに利用していただく部屋としました。学校は保護者や地域の皆様に多くのお力添えをいただいていますので、これからもたくさんの方にご来校いただきたいと思います。また、ボランティアの皆様や学生さんにも控室としても利用していただく予定です。ぜひ、ご来校の際には遠慮なくご使用ください。



なお、美原小学校は来年度より「コミュニティ・スクール」に移行します。このことは、別の機会に詳しく説明させていただきます。

## ■ スペシャルサポートルーム（SSR） ■

子どもたちには、いつも「学校はなかよく協力するところ」と話しています。でも、教室で過ごすことにちょっと疲れたり、悩みがあった場合には、担任が話を聞いて解決したり、「心のふれあい相談員」に相談室で相談したりしていました。そして、どうしても解決しないときは、少しだけ相談室で過ごしたり、学校を休んで心を落ち着かせたりする子がいました。一般的に、不登校の子は小学校の中高学年から少しずつ増え、中学校ではかなりの人数になると言われています。このことは、現在の小中学校が取り組まなければならない、とても大きな課題の一つであると考えます。

そこで、美原小にも教室や相談室以外にも子どもたちが勉強できる部屋をつくりたいと考え、美原小版「スペシャルサポートルーム」を1階に設置しました。「スペシャルサポートルーム」はもともと文部科学省が不登校児童生徒の支援のために設置を呼びかけている取組ですが、本校ではまだ専任スタッフを置くことはできません。相談員や担任の教員、担任外の教員、管理職等が対応することになりますが、試行錯誤しながらより良い対応ができるようにしていきたいと考えています。

もちろん、これまでどおり相談室や、月1回のスクールカウンセラーによる相談も行っています。ご興味のある方はご来校の際に、ぜひ一度ご覧ください。（1階1・4・6年昇降口の隣にあります。）

